

自ら**学ぶ力**をはぐくむ**豊かな心**をはぐくむ**健康な体**をはぐくむ**郷土愛**をはぐくむ

R3 県北プライド



◆自己肯定感・他者肯定感・郷土愛・協働する力の育成を目指して◆

校長 阿部 央

令和4年が始まりました



新年あけましておめでとうございます。

1月11日（火）、厳しい冷え込みの中、第3学期がスタートしました。

積雪が多かった冬休み期間中も1・2年生は部活動に、3年生は入試の諸準備に熱心に取り組む姿が見られました。

3年生はいよいよ入試シーズンに突入しました。新たな変異株の出現によって新型コロナウイルス感染症に不安を抱えながらの学校生活になりますが、できることを探りながら進級・進学、そして令和4年度にしっかりと繋がるように教育活動を進めてまいりたいと考えております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

3学期の始業式で、校長から全校生徒に次のような話をしました。



皆さん、あけましておめでとうございます。冬休み期間中、大きな事故もなく、こうして3学期のスタートが切れたことを何よりもうれしく思います。

2学期の終業式で、目標が達成できた人とできなかった人の違いは何だろうかという話をしました。

1つは時間をどれだけ有効に使ったかということ。達成できた人もできなかった人も1日の時間は同じ。1日が10時間だったり50時間だったりしないこと。みんな同じく24時間。平等に与えられた時間をどのように使ったかということ。

2つ目は失敗経験を積み重ねたのかということ。1度や2度の失敗でめげていたのでは、成功なんかできないこと。失敗したらその原因を考えてつぶしていけばいいということ。

新しい年、新しい学期を迎えました。何かが新しくなる時は、新しい気持ちとともに決意も新たにすることが出来ます。

3学期は最も短い学期です。しかし、この短い期間にやるべきことはたくさんあります。特に3年生は義務教育最後のまとめと、進路先決定という人生で重大な時期を迎えようとしています。人生の新たなステージへと進む大切な時期です。新たな節目を迎えたときに自分の夢や目標、そして決意が生まれるものです。自分は何がしたいのか、何ができるのかを考え、判断し、自分が決めた目標の実現に向けて着実に行動し続けてほしいと願っています。

行動し続けるためには何が必要でしょうか。それは自分ならできるという自信が持つことだろうと思います。はじめはできるという根拠なんてなくていい。根拠のない自信でいい。1度や2度の失敗ですぐにあきらめないで、失敗した原因を探ってつぶしていく。この繰り返しで根拠のない自信を根拠のある自信に変えていくことになる。確かな自信があれば、目標達成のために行動し続けることができるはずです。

2年生は1年後に、1年生は2年後に同じように受験の時期を迎えます。3年生の日々の姿からしっかり学び、受験を間近に控えたときの自分をイメージして生活してほしいと思います。

3学期は短期決戦です。悔いを残すことがないように、その時々を大切にしてほしいと思います。皆さんの大きな飛躍を期待しています。